

令和 7 年 6 月

伊東市議会 6 月定例会

市長所信表明に対する質問要旨

伊 東 市 議 会

市長所信表明に対する質問順序

- 1 正 風 ク ラ ブ 佐 藤 周 君
(6 月 2 4 日 (火) 1 0 時 ~ 1 1 時 3 0 分)
- 2 自 由 民 主 伊 東 井 戸 清 司 君
(6 月 2 4 日 (火) 1 3 時 ~ 1 4 時 3 0 分)
- 3 公 明 党 篠 原 峰 子 君
(6 月 2 4 日 (火) 1 4 時 4 0 分 ~ 1 5 時 4 0 分)
- 4 伊 東 未 来 杉 本 一 彦 君
(6 月 2 5 日 (水) 1 0 時 ~ 1 1 時)
- 5 政 和 会 杉 本 憲 也 君
(6 月 2 5 日 (水) 1 1 時 1 0 分 ~ 1 1 時 5 0 分)
- 6 会派に所属していない 重 岡 秀 子 君
(6 月 2 5 日 (水) 1 3 時 ~ 1 3 時 2 0 分)
- 7 会派に所属していない 犬 飼 こ の り 君
(6 月 2 5 日 (水) 1 3 時 2 0 分 ~ 1 3 時 4 0 分)
- 8 会派に所属していない 浅 田 良 弘 君
(6 月 2 5 日 (水) 1 3 時 4 0 分 ~ 1 4 時 0 0 分)

※ 質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

市長所信表明に対する質問要旨

正風クラブ 佐 藤 周

- 1 新図書館建設事業の中止及び今後の図書館政策の方針について、以下5点伺う。
 - (1) 新図書館建設事業の中止を選挙公約として掲げた理由を伺うとともに、中止すべきとの考えに至った経緯、時期について伺う。
 - (2) 伊東市全体の図書館政策の再構築について調査研究を進めるとのことであるが、具体的にはどのように取り組んでいくのか伺う。
 - (3) 図書館の再整備について、計画策定に至るプロセスやスケジュールをどのように考えているか伺う。
 - (4) 旧西小学校を利用した場合、津波浸水想定区域及び伊東大川の洪水浸水想定区域に指定されていることから、所蔵図書に浸水被害が生じる可能性はないのか伺う。
 - (5) 現図書館を継続活用するに当たっては、建物の老朽化やフロア面積の狭さなどの課題が山積しているが、どのように対処していくのか伺う。
- 2 「今こそ徹底的な経済対策」と選挙期間中に掲げた一方、所信表明においては経済政策や物価高騰対策について触れていないことから、その意図を伺うとともに、今後の本市の経済政策・物価高騰対策について、どのような方針を打ち出していくのか伺う。

- 3 公共交通体系の充実に関し、選挙期間中の発言や配布文書において、「月額定額乗り放題で市民が移動できる交通網や、観光地を巡回する仕組みなど、早急にやりたい」との意向が示されていたが、所信表明においては明言されていないことから、具体的にどのような施策を計画し実施していくのか伺う。
- 4 公約に掲げている伊豆高原メガソーラー計画の白紙撤回について、以下2点伺う。
- (1) 伊豆高原メガソーラー計画の白紙撤回とは、どのような目標地点を設定した上で述べているのか伺う。
- (2) 市長は、現在も伊豆高原メガソーラー訴訟を支援する会の代表を務めているのか伺う。
- 5 小・中学校の給食費無償化について、今後の方針を伺う。
- 6 公約において「学校運営は統合ありき」ではなく「地域に根ざす豊かで充実した教育環境へ」と学校運営についての展望を示しているが、「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針（後期方針）（案）」における以下4点の事項について、市長の考えを伺う。
- (1) 宇佐美地区については、「遅くとも令和11年度末までに学校環境を整備し、令和12年度4月から施設一体型の小中一貫校」とすることについて
- (2) 旧市街地地区については、「令和9年度4月から門野中学校又は南中学校を選択できる選択制」とすることについて

(3) 対島地区については、「令和１２年度末までに学校環境を整備し、令和１３年度４月から対島中学校を含めた小中一貫校とすることを検討」し、「小中一貫校とする場合は、旧城ヶ崎分校を適正地」とすることについて

(4) 「通学に係る家庭での負担軽減及び送迎場所の確保」のために、「学校周辺に送迎場所を確保するよう努める」ことについて

7 「防災機能を兼ねた緑の都市公園や、子どもを安心して遊ばせることのできる子ども公園の整備に向け、適地の選定など調査研究を進め」るとのことであるが、具体的な方策について伺う。

市長所信表明に対する質問要旨

自由民主 伊東 井 戸 清 司

1 市長公約から、以下7点伺う。

- (1) 次に掲げる公共施設等について、市民や専門家の意見聴取により計画を見直すとのことであるが、どのようなスケジュールにより新設・整備を図っていくか伺う。

ア 宇佐美認定こども園

イ 伊東駅前広場

ウ 文化ホール

- (2) 福祉政策を「重層的支援体制へと更に充実」とあるものの、現在本市では、包括的支援体制の整備を進めているものと思料するが、さらに充実させていく内容とはどのようなものか伺う。

- (3) 学校運営について、「統合ありき」ではなく、「地域に根ざす豊かで充実した教育環境へ」とあるが、教員の確保についてどのように考えているか伺う。

- (4) 医療体制について、「市民病院の運営改善」、「地域医療支援」、「人材育成と確保」とあるが、現状の課題をどのように捉えているか伺うとともに、どのような改善策を考えているか伺う。

(5) 市内経済の再興について、以下2点伺う。

ア 「新しい交通サービスの開始」とあるが、どのような交通サービスを考えているか伺うとともに、どのような経済効果を見込んでいるか伺う。

イ 「老朽化した市内インフラ」について、「県や国の予算を活用し、早急に総点検と修繕・複合化に向けた積極的予算の投入を」とあるが、修繕に活用できる県や国からの予算とは、どのようなものを想定しているか伺う。また、図書館の国庫補助金を全額返還することにより、今後、長期間にわたり同様の補助金が交付される見込みが薄くなると考えるが、財源の確保についてどのように考えているか伺う。また、複合化のためには、新たに用地の取得から始まり建物の新設が想定されることから、市長の公約である「箱モノ行政からの脱却」と相反しているのではないかと考えるが、いかがか。

(6) 「しがらみ」のない政治をうたっているが、市長の言う「しがらみ」とはどのようなものであるか伺う。

(7) 「市民の為の市政の実現を」として、「人口減少の将来に備えたコンパクトで災害や経済に強い、観光と共存できるまちづくり」を掲げる一方、市長所信表明において災害対策、経済対策、観光施策について言及されていない。この3点については、本市にとって最重要課題であると考えているが、市長の考えを伺う。

2 市長所信表明から、以下4点伺う。

(1) 本市がどのようなまちであるべきかについて、「市民と行政、地元の民間企業が膝を突き合わせ、大きな未来の設計図を描く必要がある」とのことであるが、どのように進めていくか伺うとともに、組織をつくるのであれば、どのような体制とするか伺う。

- (2) 「市民にとって本当に必要な施設の優先順位をつけて、最適な場所を選定し、施設を配置していくべき」とあるが、宇佐美認定こども園については、どのような優先順位に位置づけて整備していくのか伺うとともに、宇佐美地域において、津波浸水想定区域または土砂災害警戒区域を除いた上で、最適な場所があると考えているか伺う。
- (3) 「老朽化した道路や橋・港、水道・下水道などのインフラや、公共施設の補修・更新」については、「優先して取り組むべき事項であると考えており、国県の予算等の活用も図る中で」、「計画的に進める」とあるが、いずれも計画は策定済みであり、現在、計画に沿って実施していると考えますが、調査研究を進める施設の複合化について、どのような施設を複合化する考えか伺う。
- (4) 所信表明においては、即断即決の行動力を発揮するとの意思が示された一方で、即時実行可能な政策については明言されておらず、調査研究及び市民がつくる市政との旨のフレーズが多い印象を受ける。また、市長の方針として、多くの計画や施策について見直しをしていくとの姿勢があること自体は理解できるものの、これまで時間を費やして進めてきた計画等の進捗状況をゼロベースにすることで、組織体制の構築や計画の見直しに相応の期間を要するものと思料し、市長の述べるような即断即決の行動力により市内経済の再興を目指すことが難しくなるものと見込んでいるが、政策立案から実行に至るまでのスピード感についてどのように考えるか、市長の見解を伺う。

市長所信表明に対する質問要旨

公明党 篠原峰子

市長所信表明及び選挙公約について、以下13点伺う。

- 1 しがらみのないクリーンな政治を掲げているが、これまでの市政でしがらみがあったか伺うとともに、何をしがらみと考えているか伺う。
- 2 「戦略的なまちづくり 人づくり そして 仕事づくり」と掲げているが、具体的にどのような施策を講じていくのか、考えを伺う。
- 3 不登校対策及び学校統廃合について、「保護者と地域の意見を尊重した計画の策定を」と掲げられているが、市長自身はどのような計画を検討しているか伺う。
- 4 小野前市長は物価高騰で苦しむ市民へプレミアム付商品券の発行及び平日に使える宿泊クーポンを活用した誘客キャンペーンの実施を表明していたが、田久保市長は、公約に「今こそ徹底的な経済対策」と掲げていたものの、所信表明で経済対策を述べなかった理由を伺うとともに、経済対策に代わる施策を検討しているか伺う。
- 5 新図書館建設事業は、市内の子供をはじめとした幅広い世代が参加した市民ワークショップ等を開催して新図書館基本構想を策定しており、入札不調後の再設計の折にはアンケートを行うなど、長い時間をかけ、多くの市民の声を聞いて築き上げたものであった。そこには本市の未来を担う子供たちの意見も反映していたが、新図書館建設事業を中止したことから、これまで出された市民の声、とりわけ子供たちの意見をどのように捉えているか伺う。

- 6 図書館政策の再構築について調査研究を進めるとのことであるが、具体的な方策及び見通しを伺う。
- 7 以下の公共施設等の整備について、具体的な計画及びスケジュールを伺う。
- (1) 文化ホール
 - (2) 伊東駅前広場
 - (3) 宇佐美認定こども園
- 8 廃校となった施設を早期に利活用するとしているが、具体的にどのように利活用していくか伺う。
- 9 市制施行100周年を視野に入れた伊東市長期ビジョンを策定したことについては評価しつつも、本市のまちづくりには、グランドデザインが不足していると述べ、どのようなまちであるべきかについて、大きな未来の設計図を描く必要があるとの認識を示していることから、伊東市長期ビジョンを引き継いでいくか伺う。
- 10 第五次伊東市総合計画の後期計画策定に向けて、「広範な市民の方の意見を伺い、まちづくりのグランドデザインを描いてまいりたい」と述べられたが、これまでの取組とどのように違いを出していくのか伺うとともに、市長の考えるまちづくりのグランドデザインとは何か伺う。

- 11 子育て・福祉政策を包括的に支援できる体制を充実させているが、公約で掲げた重層的支援体制を整備する考えか伺う。また、それはどのように進めていくのか伺う。
- 12 「初心を決して曲げることなく、一方で皆様の声にしっかりと耳を傾け」としているが、市長の初心とは何か伺う。また、「即断即決」としているが、何を基準として適切な判断をするか伺う。
- 13 「市長と議会とが議論を重ねながら市の発展に尽力しなければならない」と述べたことには同意できるものの、議会で決定した新図書館建設事業について、市長の一存で新図書館建設工事の入札を中止するなど、即断即決の行動力を発揮されており、中止の判断には大変スピード感はあるが、今後のビジョンについては明確なものが何も見えていない印象があることから、任期４年間で、まず取り組もうと考えていることは何か伺う。

市長所信表明に対する質問要旨

伊東未来 杉 本 一 彦

- 1 市政運営のかじ取りをし、政策を実現するためには、議会との信頼関係が必要不可欠であるとするが、令和7年6月3日の新聞報道による就任会見の記事を見る限りでは、市政の両輪として信頼関係を構築していく思いが感じられない内容である。今後、議会と向き合っていくことについて、どのように考えているか伺う。
- 2 物価高騰等により市民生活は依然として厳しい状況が続いている中、市長は、選挙期間中には市内経済の再興を掲げていたものの、所信表明においては具体策が明言されなかったところであるが、即効性を重視した短期的な経済対策の実施について、どのように考えているか伺う。
- 3 新図書館建設事業の中止については、民意の結果の一つとして受け止めることはできるが、老朽化や災害のリスク、時代のニーズなどを理由に新設・更新が必要とされる公共施設は多く、現実的に課題となっていることから、次に掲げる施設において、どのようなスケジュールにより新設・更新を図っていくか伺う。
 - (1) 伊東市立図書館
 - (2) 文化ホール
 - (3) 認定こども園

4 「中長期的な社会的ビジョンやまちのあるべき姿を具体化したランドデザインが不足している」との指摘がされているが、市長の考える本市のあるべき姿を具体化したランドデザインとは、どのようなものか伺う。

5 前市長が地域タウンミーティングなどをはじめとした市民の声を聞く場を創出したことについては、その姿勢を評価する一方、「市政情報が上手く伝わらなかった方への情報提供の方法や、市政に対するご意見を述べる機会に乏しかった方からの意見聴取」を進めていくとのことであるが、具体的にどのような方策を考えているのか伺う。また、市長が考える市民との合意形成の在り方とは、どのようなものか伺う。

市長所信表明に対する質問要旨

政和会 杉 本 憲 也

市長所信表明及び市長選挙公約に関し、以下5点伺う。

1 本市のグランドデザインに関し、以下2点伺う。

(1) 今後の本市の中心市街地はどこと考えるのか伺う。また、用途地域見直しの必要性について市長の見解を伺う。

(2) 公約として本市の市内経済の再興を掲げていたが、産業振興や稼げるまちとするための具体策は何か、市長の見解を伺う。

2 新図書館建設事業の中止に関し、以下2点伺う。

(1) 直接的及び間接的な市内外への影響や損害についてどのように分析し、これらへの対策として、今後の予算措置を含めどのように考えているのか、市長の見解を伺う。

(2) 財源となる国の都市構造再編集中支援事業費補助金や起債を減額する補正予算を計上しているが、減額により今後の伊東市政においてどのような懸念事項が想定されるところと考えるか伺うとともに、どのような対応策を講じていくのか、市長の見解を伺う。

3 公有施設の整備拡充及び維持管理について、以下2点伺う。

(1) 「市民にとって本当に必要な施設の優先順位をつけて、最適な場所を選定し、施設を配置していく」という点について、市長が考える整備拡充の優先順位が高い施設やインフラは何であるか伺う。

- (2) 次に掲げる施設については、地震による倒壊リスクが想定されることから、安全確保や利便性向上に向け、どのような対策を講じることで市民福祉の向上を図るのか伺うとともに、4年間の任期の中で、どのようなスケジュールにより実施するのか伺う。

ア 宇佐美保育園

イ 伊東市立図書館

ウ 観光会館

エ 御石ヶ沢清掃工場及び清掃車庫

- 4 「市民の皆様に対し、地域医療機関に関する分かりやすい情報提供を行う」という点に関し、伊東市民病院の経営状況を公表する考えはあるか、市長の見解を伺う。

- 5 市民の「皆様の声にしっかりと耳を傾け」という点について、市長が考える市民からの新たな意見聴取方法とは具体的にどのようなものか、実施に至るまでのスケジュールも含め、市長の見解を伺う。

市長所信表明に対する質問要旨

重岡秀子

1 新図書館建設に反対した市民には、市内経済の見通しに不安があったのではないかと考えることから、市長公約について、以下3点伺う。

(1) 「市内経済の再興」を掲げているが、そのために、まず着手することは何か伺う。

(2) 「地域資源を活かした観光と産業の推進」を掲げているが、具体的にどのような事業を考えているか伺う。

(3) 不登校対策及び学校統廃合の教育課題に対して、具体的にどのように取り組むか伺う。

2 タウンミーティングをはじめとした広聴の場について、「これまでの事業をリニューアルの上、引き続き取組を進める」とのことであるが、市民が主体的に関われるような「新たな手法」について、どのような方策を講じるか伺う。

市長所信表明に対する質問要旨

犬 飼 このり

1 図書館政策について、以下2点伺う。

- (1) 新図書館を整備するまでの間、現在の図書館を利用するには修繕が必要であると思われるが、どの程度の費用が適切と考えるか伺う。また、旧西小学校をはじめとした廃校を新図書館として活用する場合においても整備が必要と考えるが、どの程度の費用が適切と考えるか伺う。

- (2) 図書館の規模拡張または分館構想を実施した場合、図書館のサービス向上を図るためには、図書館の管理運営の形態を直営とするほか、現在よりもさらに司書の配置を充実させる必要があると考えるが、市長の考えを伺う。

2 広報広聴について、既存のツールや方策では、情報が行き渡らない市民がいるとの認識を示しているが、そのような方への情報保障についてどのように考えているか伺う。また、市民の意見の聴取方法について、具体的な方策を伺うとともに、聴取した意見をどのように政策に反映させていくか伺う。

市長所信表明に対する質問要旨

浅 田 良 弘

- 1 市民参加の促進について、市民からの意見聴取の機会をどのように確保する予定か伺う。
- 2 以下の３点について、施策の実施に向けた方針及び予算計画を伺う。
 - (1) 公共交通体系
 - (2) 福祉政策
 - (3) 地域医療
- 3 経済対策に関し、市長の考える重点施策について具体的プランを伺う。
- 4 市民と行政、地元の民間企業との連携等による、まちづくりの計画について伺う。
- 5 市民へのメッセージとして、新しい市政に対して、どのように期待を持ってほしいと考えるか伺う。